



# JAL不当解雇撤回ニュース

No196号 2012.09.13  
 発行:JAL解雇撤回国民共闘事務局  
 連絡先:航空労組連絡会事務局  
 〒144-0043 大田区羽田5-11-4  
 フェニックスビル内  
 TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819  
<http://www.jalkaikekai.com>

# 8月25・26日



会場の朱鷺メッセ 開演前

# 13200人結集

**WOMEN POWER ♪ ♪ ♪**

2012年8月25、26日、新潟市にある朱鷺メッセにおいて、日本母親大会が開催されました。原告団から2名が参加し、訴えをしました。「子供達に笑顔と希望を」「誰もが人間らしく生きる」「核も基地も戦争もない平和な世界を」「女性の地位向上と男女平等」を目指して120の決議が採択されました。

また、ジャーナリストの斎藤貴男さんは「すべての人が幸せになる社会を目指そう」と呼びかけ、文化行事でバンドウーラを演奏したナターシャ・グジーさん——6歳の時チェリノブリ爆心地から3.5Km地点で被爆——は、「過ちを繰り返さないために、あの日を忘れてはいけない」と語りました。



**代表委員 柴田真佐子さん**

「女性達の切実な願いをかけ、激動の情勢に向き合いましょう」と訴えました。そして、解雇撤回バッジを胸に「裁判長に世論を伝えるには署名しかありません」と署名の取り組みを訴えて下さいました。

**女性原告代表が訴え**

「私達を差し置いて新規採用は許せない。裁判に勝つには皆様の協力が不可欠！」と訴えました。



連日の猛暑の中、「命を守る社会を女性達の手で」と1日目は32分科会と2講座が行われました。どの会場もパワフルな発言や討論が交わされ、椅子が足らず床に座って熱心に聞き入ってる姿が見られました。

客乗原告2人は、「人間らしい働き方、働く権利」の分科会に参加しました。そこでは、非正規職についている子供の母親からの意見が多く、子供が過労死した母親は実態を涙ながらに話されました。

原告2人は女性の職場である乗務員の労働条件や、最大のパワハラである人権侵害「整理解雇」について発言しました。

個人署名190筆と19団体の団体署名を頂きました。ありがとうございました。